

令和3年度
日本赤十字社岐阜県支部
事業・決算報告

I 事業報告

1. 災害救護事業
2. 講習普及事業
3. 赤十字奉仕団（ボランティア）
4. 青少年赤十字
5. 国際活動
6. 赤十字思想の普及
7. 会員と活動資金

1. 災害救護事業

(1) 災害に備えた体制の整備

救護訓練、研修の実施

○第3ブロック支部合同災害救護訓練

- ・感染防止対策のため、初のオンライン訓練を実施
- ・カードを模擬患者に見立て、被災者救護を行い、災害診療記録などの検証を実施



第3ブロック支部合同災害救護訓練の様子（オンライン開催）

○こころのケア指導者研修会

- ・こころのケア実施時の診療記録等の記入訓練を実施
- ・岐阜県精神保健福祉センター職員から、災害時に連携し活動を行う岐阜県DPAT(精神医療チーム)の体制や活動についての説明を受け、理解を深めた。



こころのケア指導者研修会の様子（オンライン開催）

(2) その他の活動

①地区区分への救護資機材、救援物資の整備

各地区区分(市町村)に配備している資機材の更新

- ・災害救援車両(4台)
- ・災害用移動炊飯器(11台)
- ・天幕(11張)
- ・災害備蓄倉庫(2棟)



災害救援車両



災害用移動炊飯器

②高山赤十字病院救急車両の更新

災害救護や普段の医療に使用する救急車を更新



高山赤十字病院救急車

③防災・減災への取組み

防災教育事業の実施

災害時の自助や共助、防災知識についてを学習するセミナーを、地域や学校など7会場で実施(参加者:221人)

〈セミナーの内容〉

- ・災害体験を追体験するエスノグラフィー
- ・災害図上訓練(DIG)等



防災セミナーの様子(輪之内町)

(3) 義援金受付状況

(義援金)

(令和4年3月31日現在)

義援金名	令和3年度受付額	累計額	受付期間
平成30年7月豪雨災害義援金(広域)	531,236円	22,973,775円	H30.7.10~R4.6.30
令和2年7月豪雨災害義援金(広域)	1,427,431円	5,334,801円	R2.7.7~R4.9.30
令和3年2月福島県沖地震災害義援金	524,651円	757,751円	R3.2.24~R3.5.31
令和3年島根県松江市大規模火災義援金	210,686円	210,686円	R3.4.12~R3.5.31
令和3年7月大雨災害義援金	1,361,894円	1,361,894円	R3.7.9~R3.12.28
令和3年台風第9号等大雨災害義援金	241,560円	241,560円	R3.8.18~R3.12.28
令和3年8月大雨災害義援金	1,238,545円	1,238,545円	R3.8.23~R4.3.31
令和3年長野県茅野市土石流災害義援金	134,941円	134,941円	R3.9.14~R4.3.31
令和4年3月福島県沖地震災害義援金	130,000円	130,000円	R4.3.23~R4.6.30

2. 講習普及事業

(1) 講習実施状況

- ・令和3年度は新型コロナウイルス感染予防のため、接触実技を行わないなど一部講習内容を変更し、また、受講対象者を限定するなどの措置をし実施
- ・令和4年度からは、感染対策を十分講じながら、接触実技（人工呼吸を除く）を全ての講習で再開、2年間開催を中止していた水上安全法も再開の予定

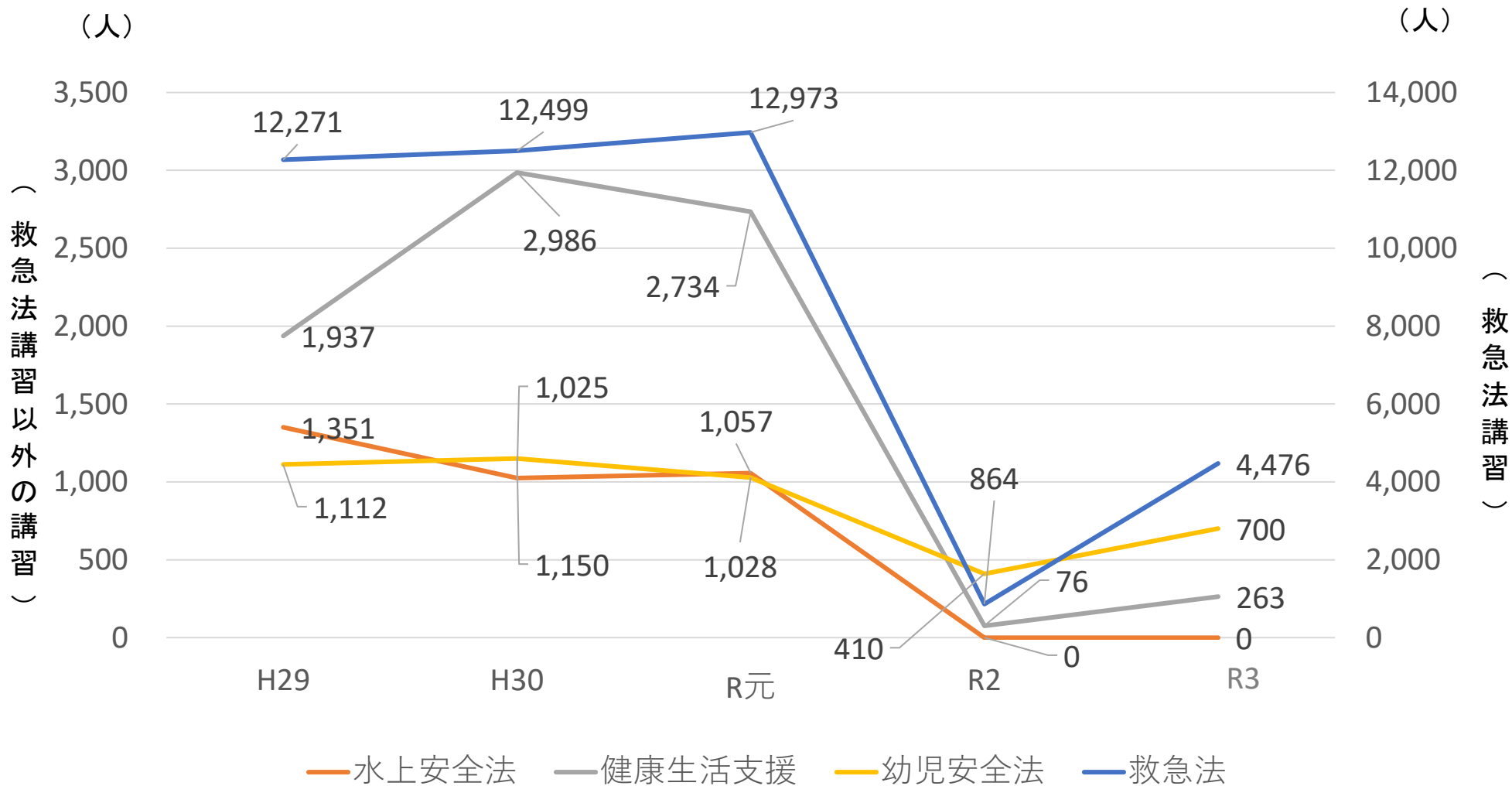


AEDの取扱いを学ぶ救急法基礎講習
(日赤岐阜県支部)



骨折の手当てを学ぶ救急法救急員養成講習
(御嶽濁河高地トレーニングセンター)

(2) 年度別講習受講状況



講習内容の一部見直しや定員、対象者の制限を行いながら可能な限り開催したことにより、令和2年度と比べ受講者数は増加した。

3. 赤十字奉仕団（ボランティア）

（1）新型コロナ禍のもとでの奉仕団活動

- ・ 新型コロナ感染予防のため活動が制限される中、感染防止対策を徹底しながら活動を実施
- ・ コロナ禍での新たな取組みを創意工夫して実施する奉仕団もあった。

（主な活動）

- ・ 地域の清掃活動
- ・ 高齢施設への訪問
- ・ 高齢者への訪問お見舞い活動



栽培した野菜を介護施設にお届け【坂祝町赤十字奉仕団】

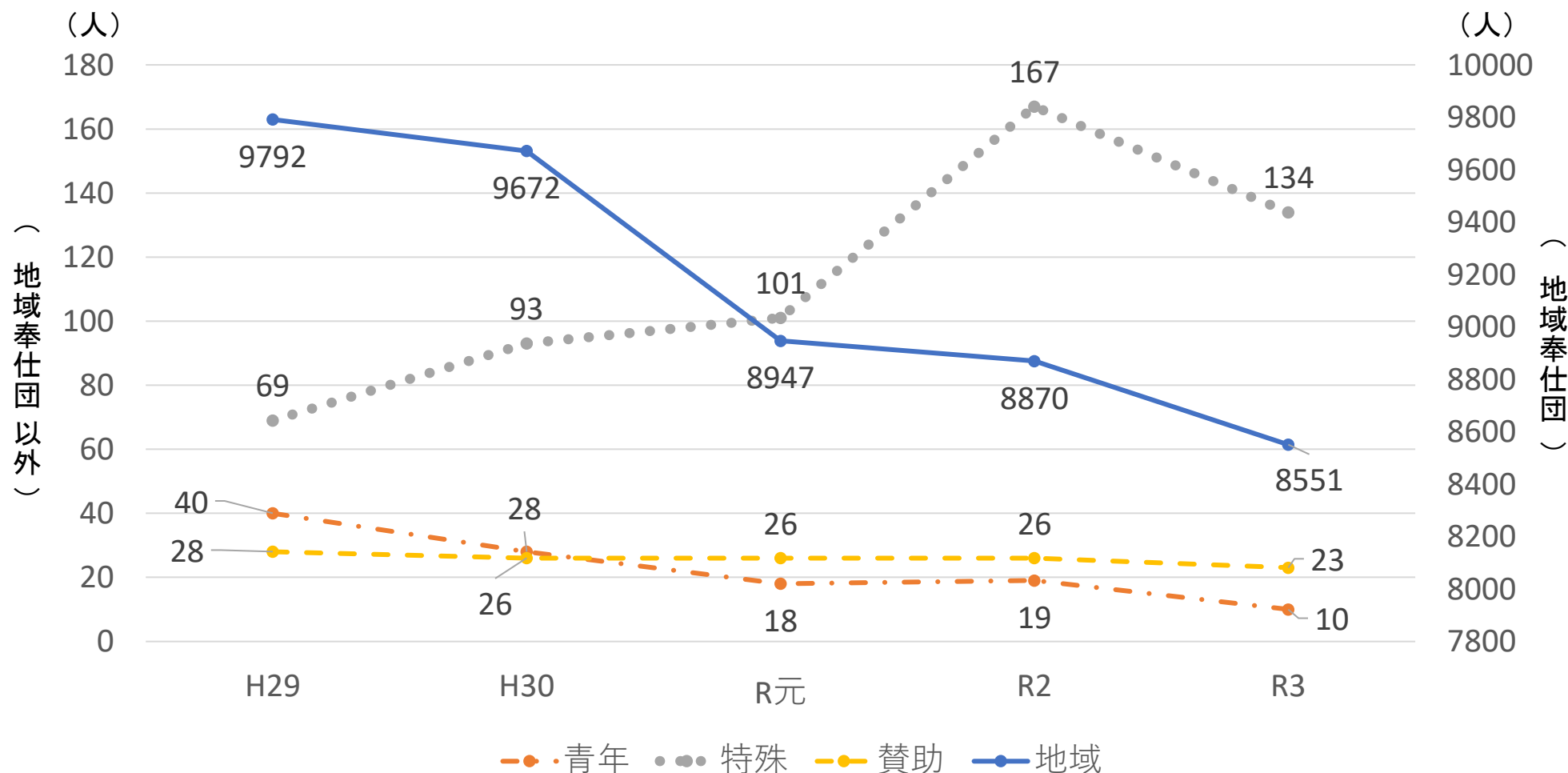
（2）炊き出し指導員養成研修

- ・ 平時には非常食の知識や技術を指導し、有事の際には炊き出し活動が円滑に行えるリーダー（指導員）を6名養成



炊き出し指導員養成研修の様子

(2) 赤十字奉仕団年度別組織状況



少子・高齢化等の影響により、奉仕団員数は減少傾向にある。特に地域奉仕団の団員数の減少が大きく、新規団員の確保が課題となっている。

4. 青少年赤十字

(1) 青少年赤十字の活動

① 学校生活での青少年赤十字活動を推進

他校の参考となるような青少年赤十字活動を実施する推進校を指定し、交付金を交付

事業名	指定校数	交付総額(千円)
青少年赤十字研究推進モニター校	25校	2,500
青少年赤十字防災教育推進校	2校	400
青少年赤十字100周年記念事業推進校	5校	1,000



地元産業からSDGsを学ぶ
 (東白川村立東白川中学校)

② ワンタッチテントの贈呈

防災対策の強化や各種行事に活用してもらうためのワンタッチテント(3m×3m)1張を令和2年度新規加盟校29校に贈呈

【贈呈実績】

平成26年度	273校
平成28年度	163校
平成30年度	40校
令和元年度	88校
令和2年度	50校



ワンタッチテントの贈呈式
 (高山市立栃尾小学校)

5. 国際活動

(1) 赤十字国際活動への資金拠出

事業名	事業内容	拠出額(千円)
シリア難民支援事業	シリア難民への衛生用品配布、トイレや水タンクの敷設等	920
東アフリカ地域3カ国地域保健強化事業	モバイルラジオを配布し、新型コロナウイルス感染予防を啓発	690
アジア・大洋州給水・衛生キット支援事業	小型給水キットの敷設、安全な水管理を行うための技術提供	690
計		2,300

(2) 海外救援金等の受付状況

(救援金)

救援金名	令和3年度受付額	累計額	受付期間
中東人道危機救援金	1,000円	188,937円	H27.4.1～R5.3.31
バングラデシュ南部避難民救援金	1,000円	201,150円	H29.9.22～R5.3.31
2021年ハイチ地震救援金	35,092円	35,092円	R3.8.18～R3.11.30
アフガニスタン人道危機救援金	14,830円	14,830円	R3.9.22～R5.3.31
トンガ大洋州噴火津波救援金	130,115円	130,115円	R4.1.26～R4.3.31
ウクライナ人道危機救援金	7,330,786円	7,330,786円	R4.3.2～R4.9.30

(募金)

募金名	募金額	受付期間
NHK海外たすけあい	1,366,393円	R3.12.1～R3.12.25

6. 赤十字思想の普及

(1) 展示イベントの実施

自然災害が頻発、甚大化する中、防災啓発を目的に商業施設等で展示イベントを実施



日本赤十字社と考える濃尾地震130年と防災展(モレラ岐阜)



防災展示(イオンモール各務原)

(2) その他の広報活動

広報紙を発行し、県内赤十字施設の活動を紹介したほか、街頭大型ビジョンや岐阜放送等においてCMを放映

7. 会員と活動資金

(1) 社資及び会員の状況

厳しい経済環境が続いているが、地区分区の積極的な取組みや法人へのアプローチのほか、コロナ対策を趣旨とした寄付金等もあり、目標額を上回った。

会員数に関しては、個人会員の減少が続いており、今後の活動基盤の強化のためには、新たな個人会員の確保及び法人会員の新規獲得が課題である。

【社資額】

(単位：千円)

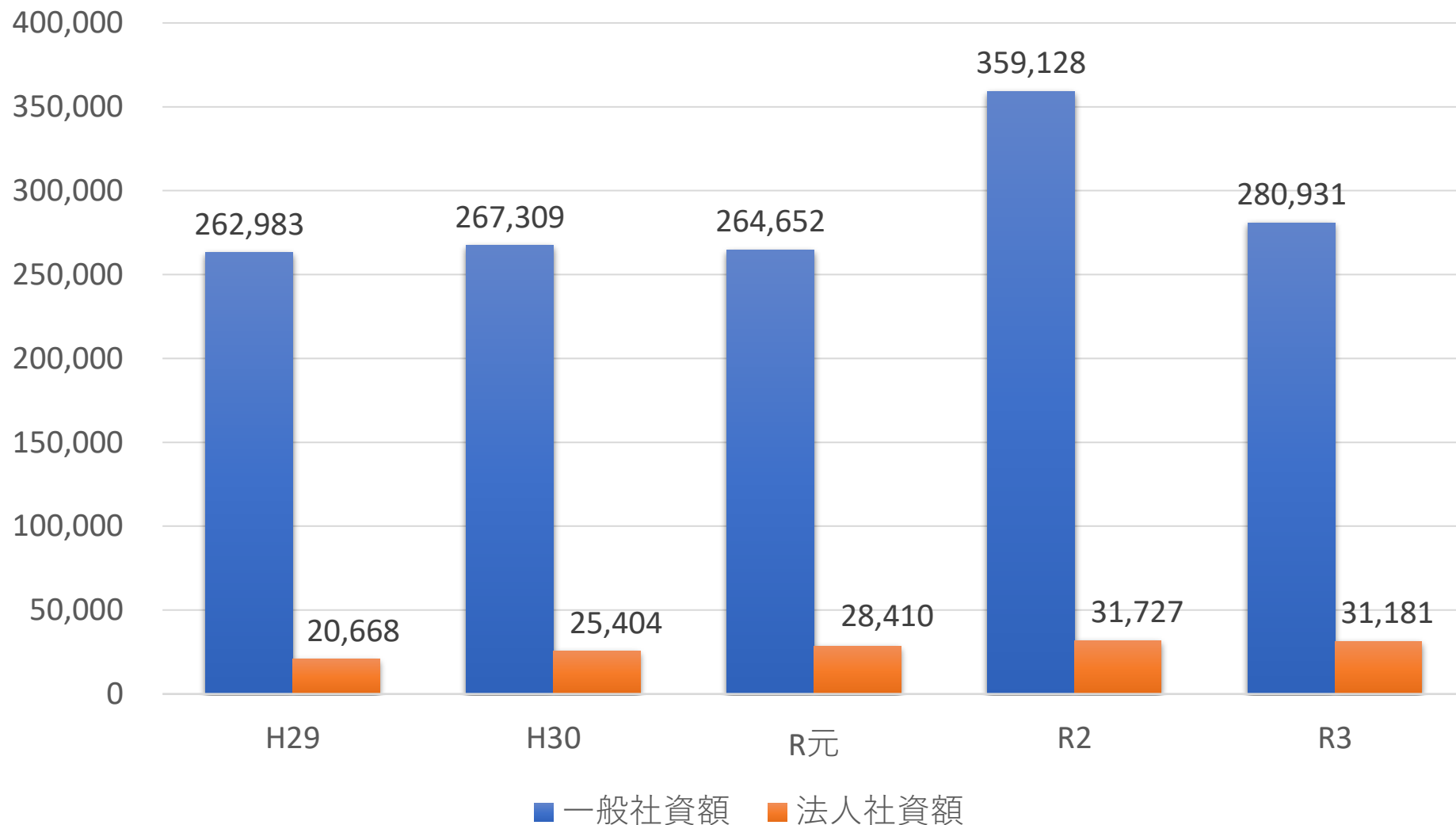
	H29	H30	R元	R2	R3
一般社資額	262,983	267,309	264,652	359,128	280,931
法人社資額	20,668	25,404	28,410	31,727	31,181
合計	283,651	292,713	293,062	390,855	312,112

【会員数】

	H29	H30	R元	R2	R3
一般会員数 (人)	433,008	439,541	397,901	393,516	390,144
法人会員数 (法人)	2,804	3,004	2,944	2,806	2,805

年度別社資状況

(千円)



(3) 企業とのパートナーシップ

社会貢献活動に意欲のある企業・団体との連携

① パートナー企業の状況

導入企業	寄付金付自動販売機	12社
	株主優待	3社
	ポイント交換	1社



寄付金付き自動販売機

② カウンタープレート配布状況

配布先	法人会員	413社
	有功会法人会員	89社
	寄付金付自動販売機設置先 (有功会員除く)	11社



赤十字活動支援企業
カウンタープレート

Ⅱ 決算報告

1. 令和3年度歳入歳出決算状況
2. 令和2年度決算額との主な増減の理由
3. 日本赤十字社岐阜県支部歳入決算状況
4. 日本赤十字社岐阜県支部社資収入状況
5. 日本赤十字社岐阜県支部歳出決算状況

1. 令和3年度歳入歳出決算状況

(単位：円)

区分		3年度決算	2年度決算	対前年増減額	
歳入	社資収入 ①	312,135,847	390,854,197	△ 78,718,350	△20.1%
	委託金等収入 ②	0	1,453,480	△ 1,453,480	皆減
	補助金の予備交付金収入 ③	5,114,200	1,783,464	3,330,736	186.8%
	災害義援金預り金収入 ④	0	40,195,359	△ 40,195,359	皆減
	繰入金収入	25,000	0	25,000	皆増
	雑収入 ⑤	3,781,058	6,895,532	△ 3,114,474	△45.2%
	前年度繰越金 ⑥	60,076,696	39,826,552	20,250,144	50.8%
計		381,132,801	481,008,584	△ 99,875,783	△20.8%
歳出	災害救護事業費 ⑦	39,566,517	74,086,725	△ 34,520,208	△46.6%
	社会活動費 ⑧	46,641,293	48,833,221	△ 2,191,928	△4.5%
	国際活動費	2,325,000	2,306,910	18,090	0.8%
	指定事業地方振興費 ⑨	7,156,000	5,750,001	1,405,999	24.5%
	地区分区交付金支出	48,989,325	48,848,925	140,400	0.3%
	社業振興費	34,917,348	33,166,755	1,750,593	5.3%
	基盤整備交付金・補助金支出	10,209,312	10,928,341	△ 719,029	△6.6%
	積立金支出 ⑩	27,301,070	93,126,884	△ 65,825,814	△70.7%
	総務管理費 ⑪	47,386,284	43,266,665	4,119,619	9.5%
	資産取得及び資産管理費	3,561,417	4,127,566	△ 566,149	△13.7%
	本社送納金支出 ⑫	44,462,429	56,489,895	△ 12,027,466	△21.3%
予備費	0	0	0	—	
計		312,515,995	420,931,888	△ 108,415,893	△25.8%

歳入歳出差引額 381,132,801円－312,515,995円 = 68,616,806円(令和4年度への繰越金)

2. 令和2年度決算額との主な増減の理由

【歳入の部】

①社資収入

一般社資収入78,197千円の減、法人社資収入547千円の減となり、社資総額では78,744千円の減となった。これは、令和2年度に大口寄附金（一般社資）があったことによるもの

②委託金収入

令和2年度は令和元年台風第19号災害にかかる災害救助費収入があったため

③補助金及び交付金収入

本社からの現物給付及び地域包括ケア事業助成金の交付による増（3,323千円）

④災害義援金預り金収入

令和2年度は令和2年7月豪雨災害の被災地県となり義援金の募集を行ったため

⑤雑収入

奨学生の退学及び退職にかかる奨学金返還額の減によるもの（△2,600千円）

⑥前年度繰越金

令和2年度に支部への大口寄付金があったことによる増

【歳出の部】

⑦災害救護事業費

令和2年度は令和2年7月豪雨災害の被災地県となり県配分委員会へ義援金の送金を行ったため（△40,195千円）

⑧社会活動費

JRC加盟校へのワンタッチテント配備数減によるもの（50校→29校）

⑨指定事業地方振興費

支部、施設への個人住民税指定寄付金増によるもの

⑩積立金支出

令和2年度は大口寄付金を原資とした積立を行ったため（△76,000千円）

⑪総務管理費

会員管理統一システム（令和3年度導入）の機器整備費及び保守費の増（1,720千円）

一般会計システムのサーバー移行及び機器更新にかかる経費の増（965千円）

血液センター職員への特別退職金支部負担分の支出による増（1,342千円）

⑫本社送納金支出

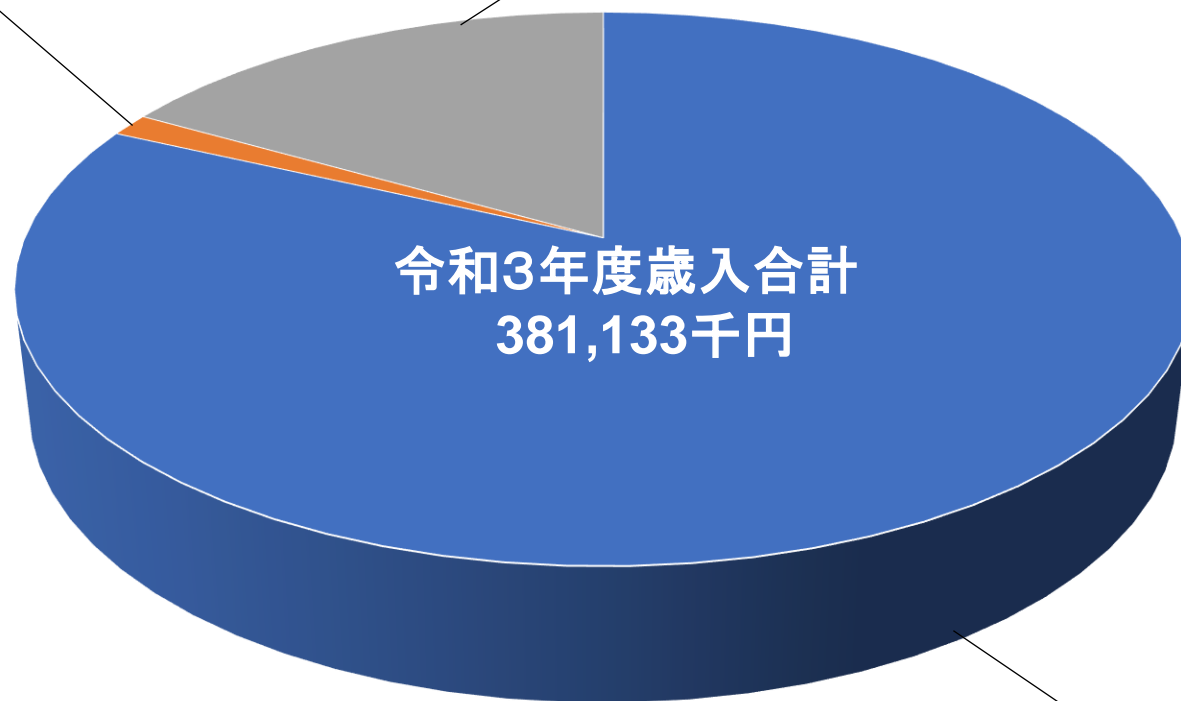
令和2年度は支部への大口寄付金にかかる本社送納金支出があったため

3. 日本赤十字社岐阜県支部歳入決算状況

単位:千円
()内は、歳入合計に占める割合

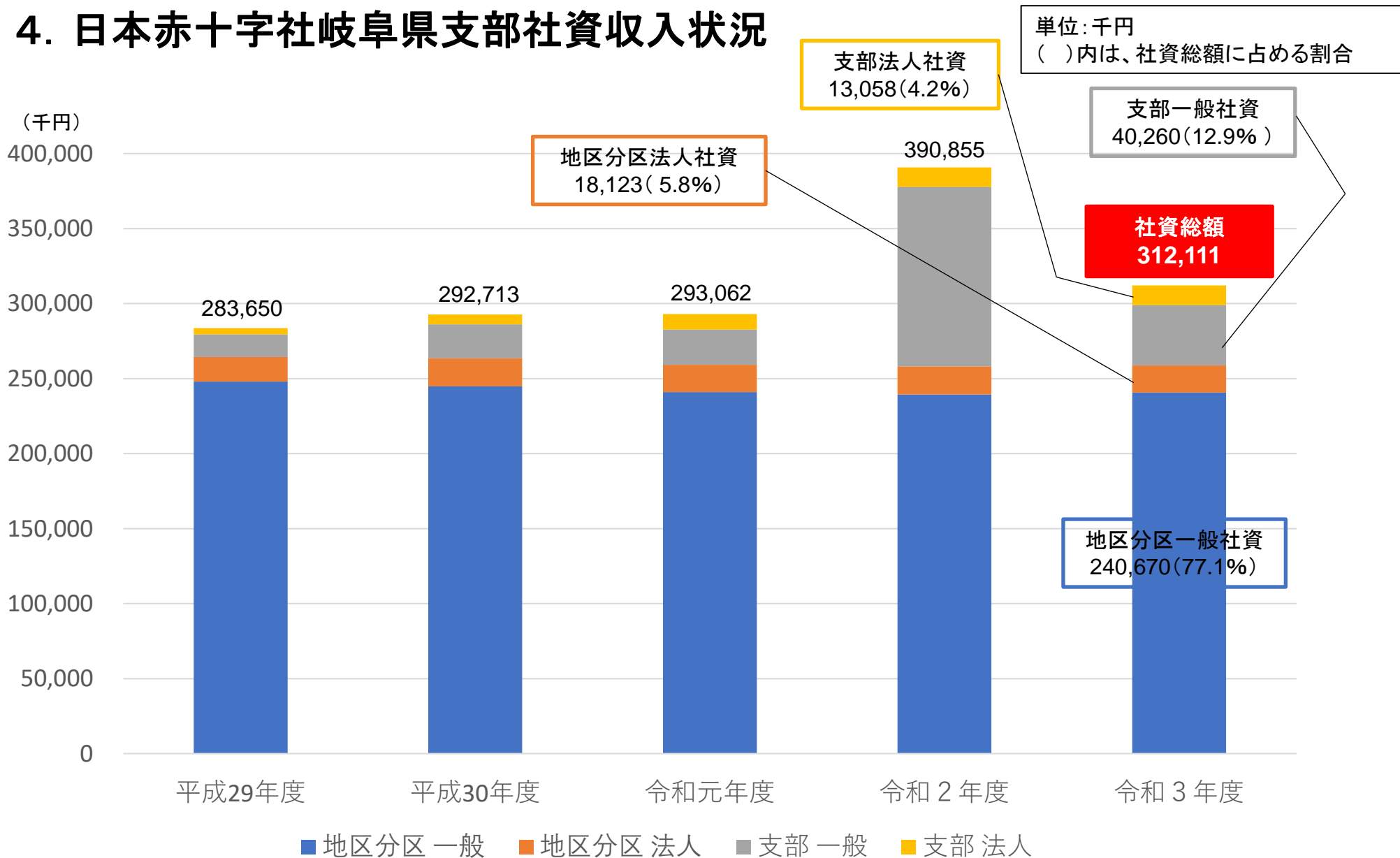
委託金・補助金等収入 5,114 (1.3%)

その他収入	63,883	(16.8%)
繰入金収入	25	(0.01%)
雑収入	3,781	(1.0%)
・講習受講者からの受講料、奨学金返還額 等		
前年度繰越金	60,077	(15.8%)



社資収入	312,136	(81.9%)
一般社資	280,956	(73.7%)
法人社資	31,180	(8.2%)

4. 日本赤十字社岐阜県支部社資収入状況



※社資総額、支部一般社資には個人住民税対応海外救援金は含まれていません。(平成30年度828千円、令和元年度10千円、令和3年度25千円)

5. 日本赤十字社岐阜県支部歳出決算状況

単位：千円
()内は、歳出合計に占める割合

その他支出 74,687 (23.9%)
積立金支出 27,301 (8.7%)
・施設整備、職員退職金にかかる積立金
総務管理費 47,386 (15.2%)
・評議員会、監査にかかる経費
・一般管理業務にかかる経費 等

災害救護事業費 39,567 (12.7%)
・救護活動や訓練の経費、災害救護装備や
地区分区の救護資機材等の整備費用
・豊田看護大学奨学生への奨学金 等

社会活動費 46,641 (14.9%)
・各種講習実施のための経費
・奉仕団、ボランティア、JRCの研修育
成費、活動にかかる助成金
・JRCへのワンタッチテント整備費 等

国際活動費 2,325 (0.7%)
・開発途上国の保健衛生事業や紛争など
による難民支援への資金拠出 等

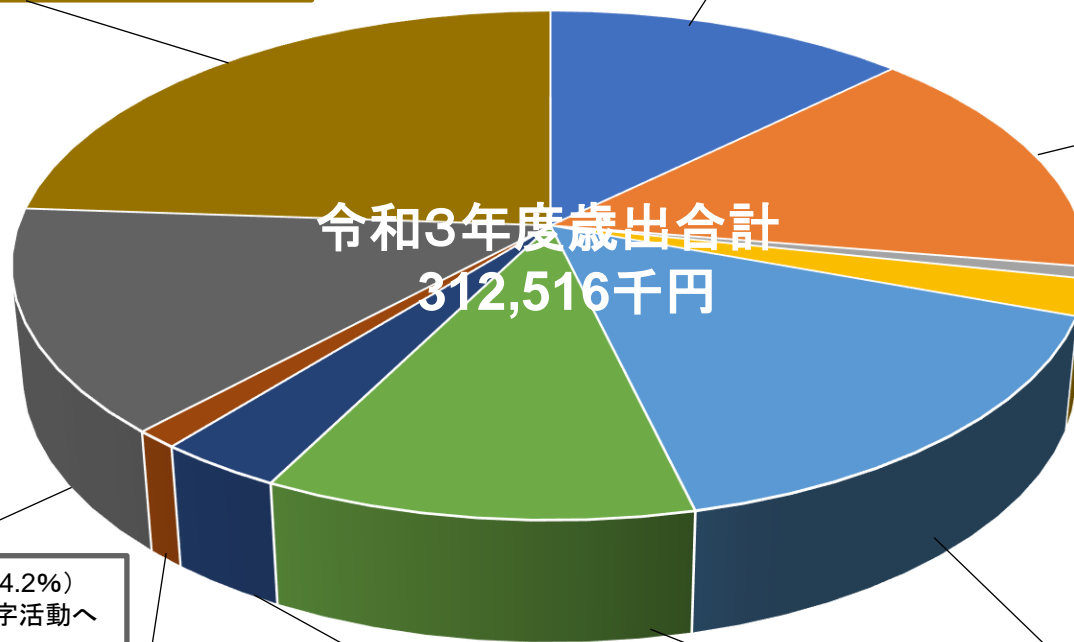
指定事業地方振興費 7,156 (2.3%)
・個人住民税控除適用寄付金を財源と
して行う設備等の整備費 等

地区分区交付金 48,989 (15.7%)
・地域での赤十字活動を行うための地区
分区に対する交付金

社業振興費 34,917 (11.2%)
・会員制度の普及啓発、会費の募集、功労者への
表彰に係る経費
・赤十字事業の広報、宣伝等にかかる経費 等

基盤整備交付金補助金 10,209 (3.3%)
・医療施設や血液センターに対する交付金

資産取得及び資産管理費 3,562 (1.1%)
・施設のメンテナンス等の経費 等



本社送納金 44,463 (14.2%)
・全国規模で行う赤十字活動へ
の経費